

定期的な地域コミュニケーションで 地域の皆さまとの相互理解を強化

横浜ゴムの国内工場では地域の皆さまのご意見やご要望をお聞きするため、定期的な地域コミュニケーション活動を展開しています。2009年は、7月までに3工場で3回開催し、76名の皆さまが参加しました。

三重工場「環境懇談会」

年2回実施しています。2009年は6月28日に第1回を開催し、地区自治会の皆さまをはじめ、伊勢市環境担当者、市議員の方々など28名にご参加いただきました。参加者の皆さまからは粉塵、騒音、大型車両の通行マナーなどについてご要望があり、こうした問題に対しては工場長以下、全従業員が一丸となって問題解決に取り組んでいます。



開催概要

日時: 2009年6月28日
出席者: 地区自治会、伊勢市環境担当者、市議員の方々(28名)
実施内容: 工場の概要説明/工場環境報告書のご説明/環境活動への取り組み/2008年のご要望に対する対応/質疑応答/工場見学/懇談会

平塚製造所「近隣自治会コミュニケーション会」

日時: 2009年2月11日
出席者: 近隣自治会の皆さま(36名)
実施内容: 製造所の概要説明/環境・防災への取り組み/工場見学/懇談会

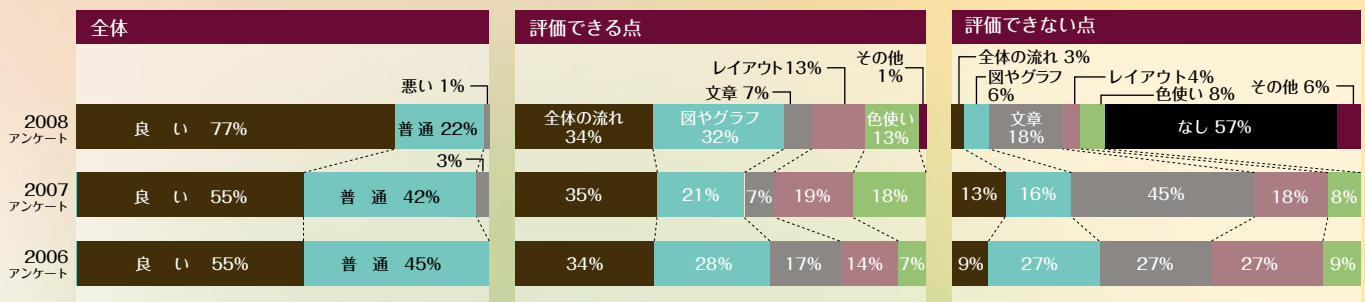


新城工場「区長工場見学・懇談会」

日時: 2009年6月30日
出席者: 周辺地区の区長・副区長(12名)
実施内容: 工場の概要説明/工場見学/懇談会



CSRレポート2008アンケート結果 ※2008年9月に発行した「CSRレポート2008」(冊子版)の読者アンケート(回答者数116名)



関心の高かった項目 (複数回答)

信頼される環境貢献商品の開発(64名)/社会と共に(45名)/環境対応生産(40名)/従業員と共に(35名)/環境「GD100」の基本方針・行動指針(34名)/横浜ゴムグループの概要(34名)/CSR経営への取り組み(31名)/トップメッセージ(30名)/企業理念・新中期経営計画(29名)/CSR環境推進体制(24名)

主なご意見 (複数回答)

CSRの取り組み概要が理解できた/廃棄物削減の努力に感心した/DNA Earth-1に採用したオレンジオイルが興味深かった/担当者の顔が見えるのが良い/環境貢献商品のページが分かりやすい/環境意識をもって商品を生産していることが印象に残った/専門用語を使わないでほしい/トラック・バス用タイヤの情報が少ない/文章が多く読みづらい/環境貢献商品の技術的な部分をもっと知りたい